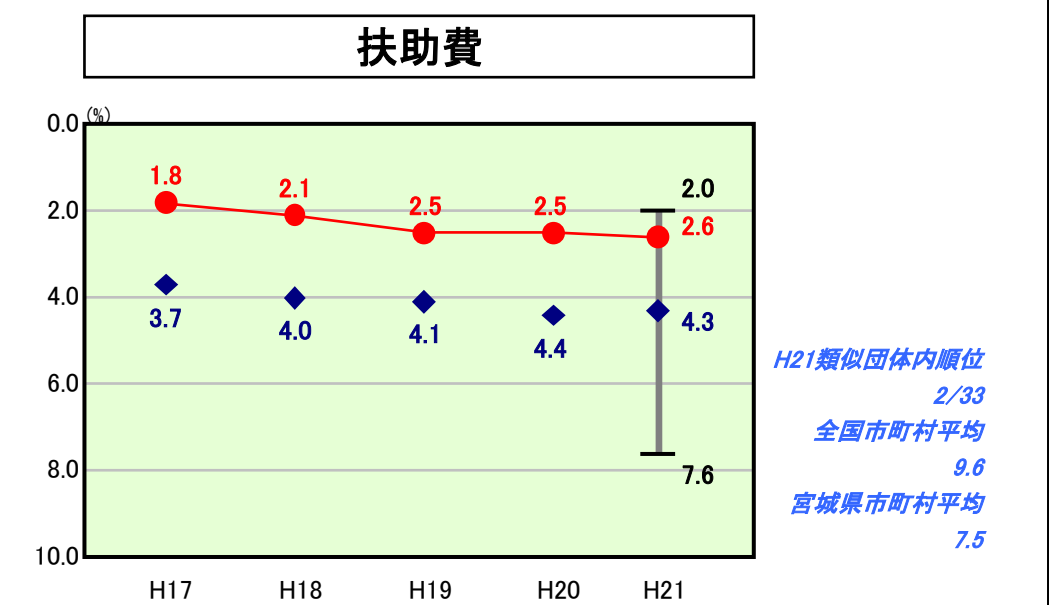
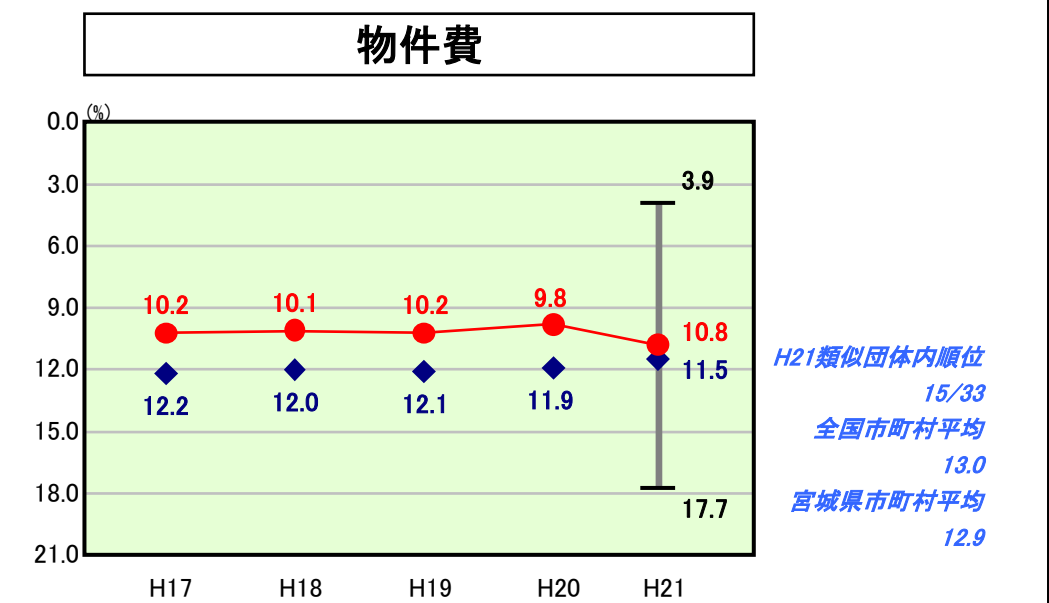
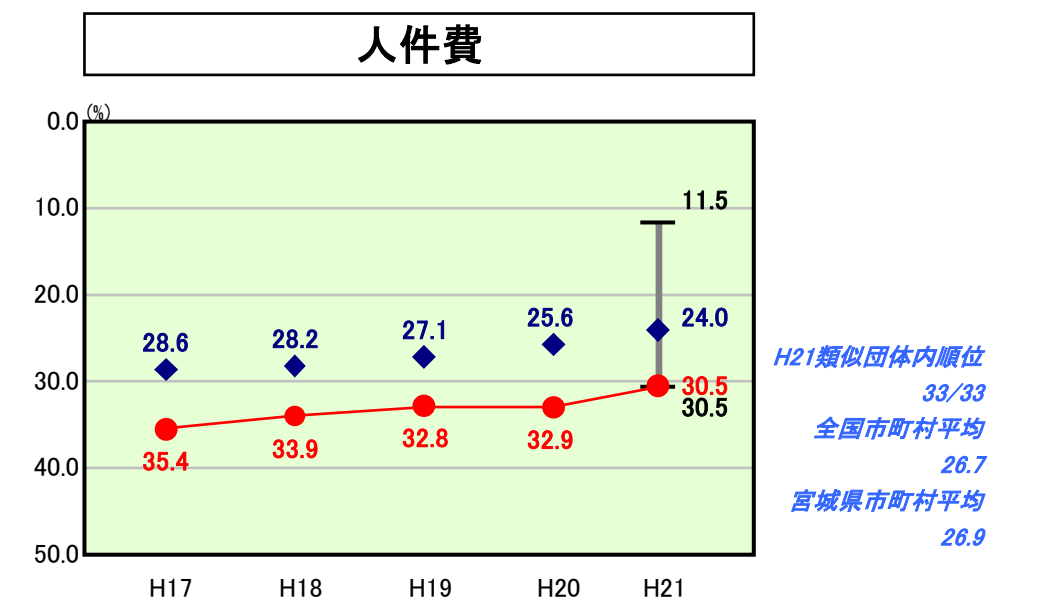
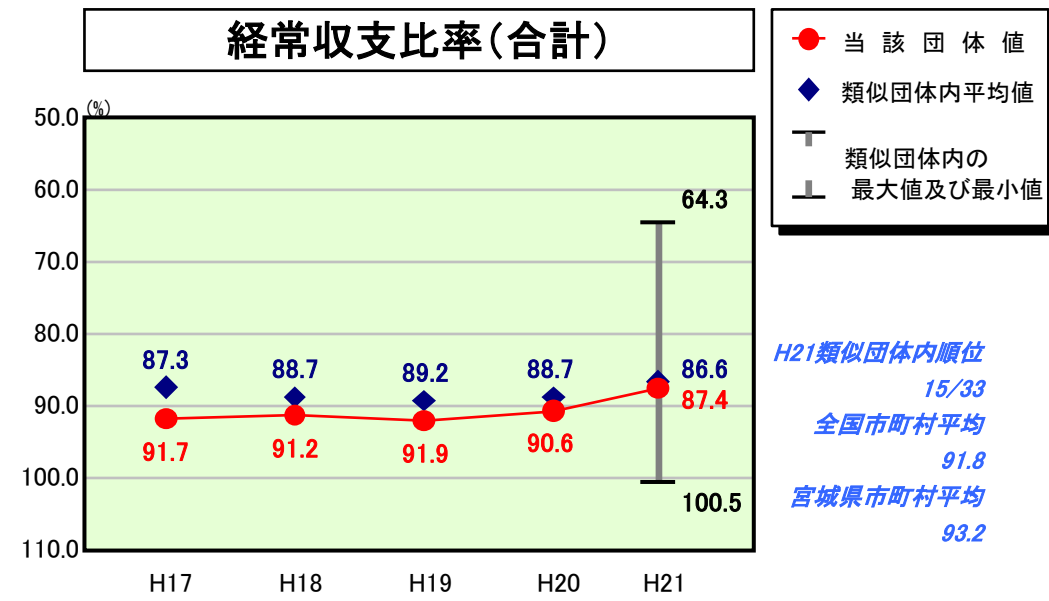
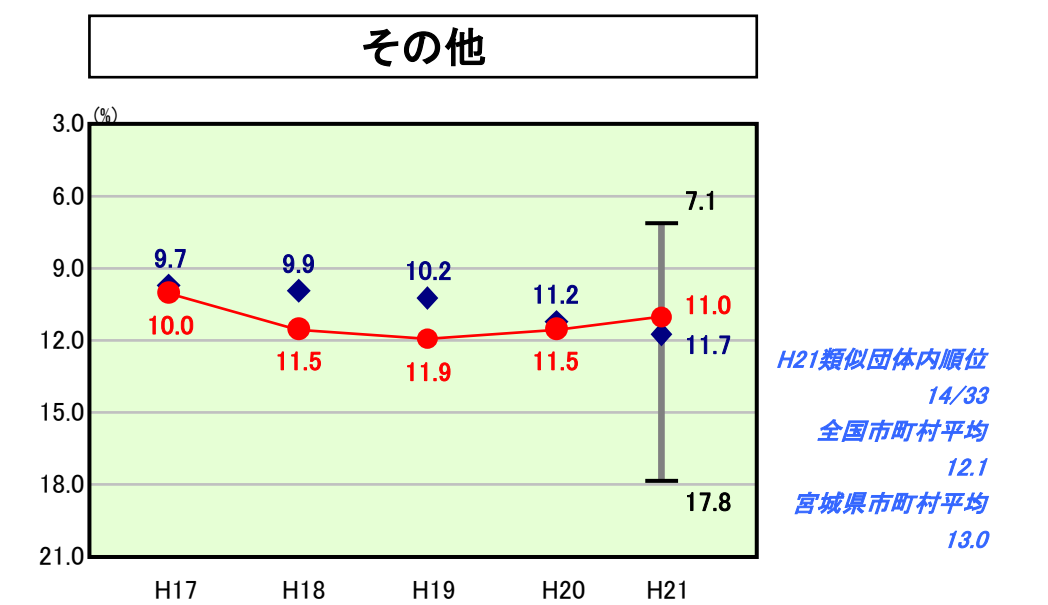
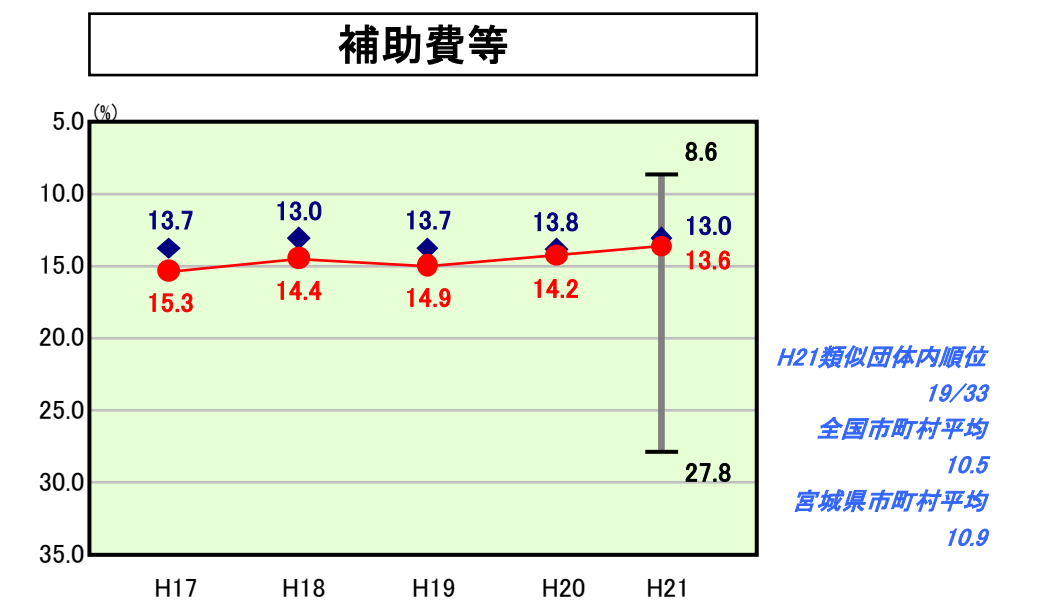
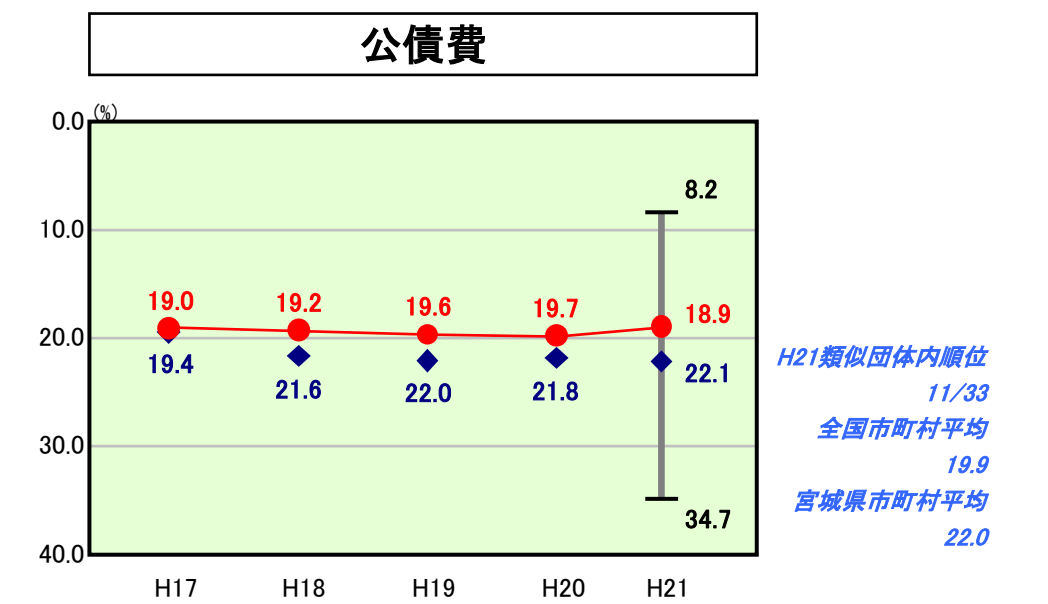
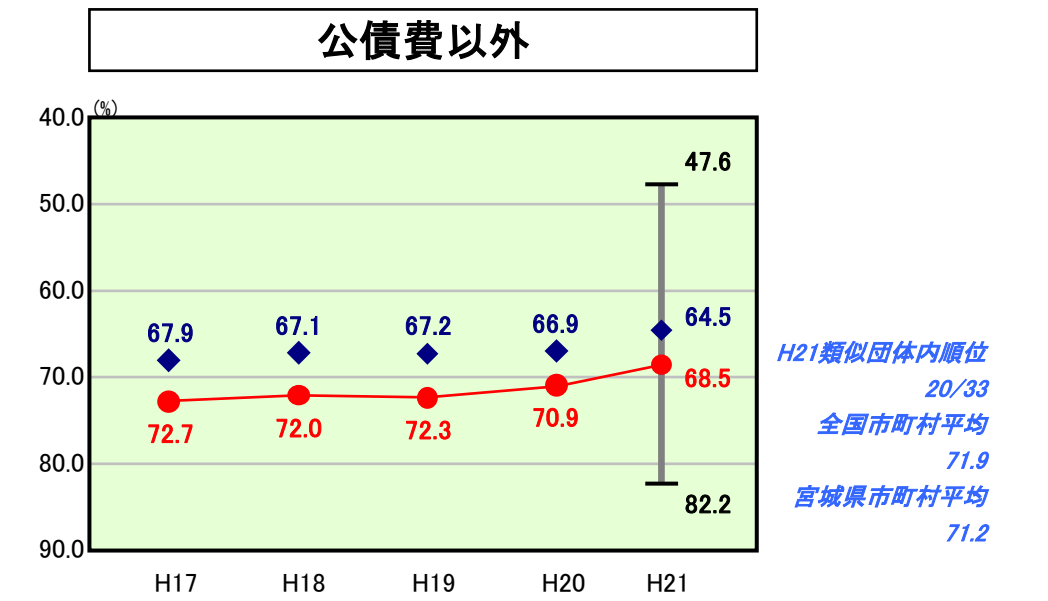
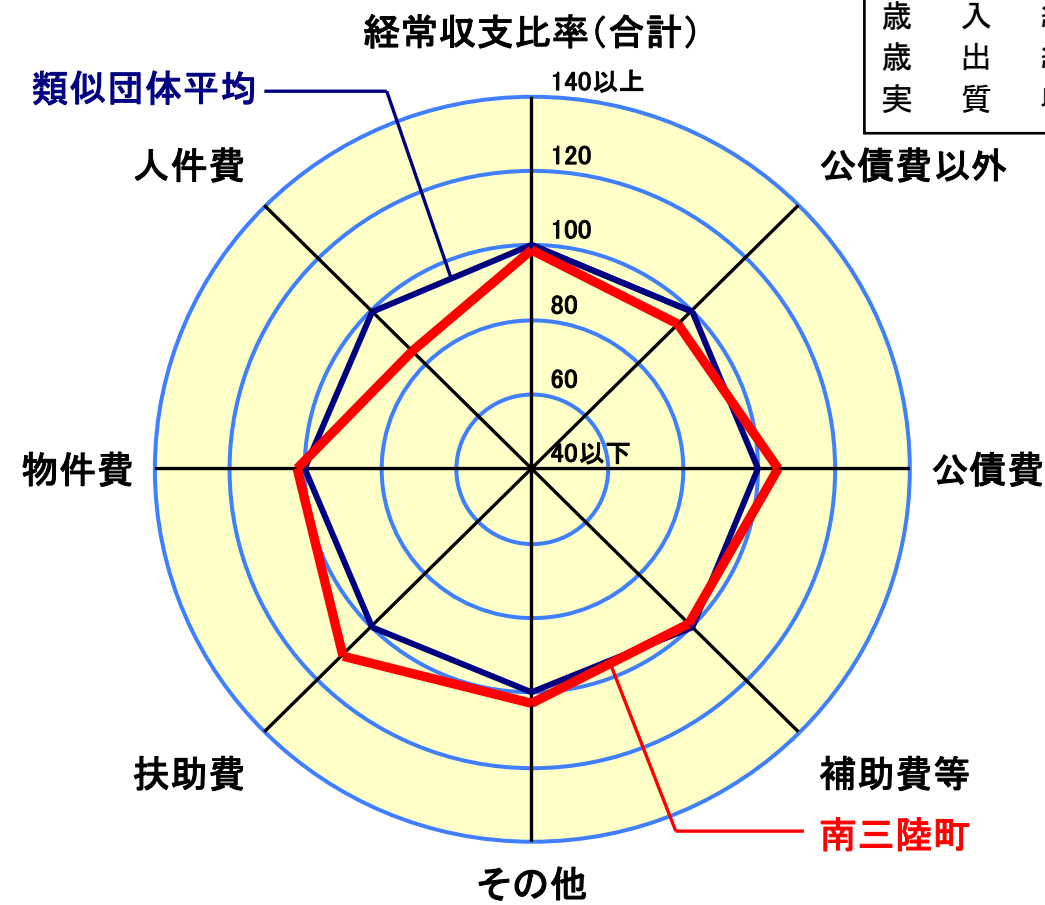


歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

経常収支比率の分析



人口	17,815人(H22.3.31現在)
面積	163.74 km ²
標準財政規模	5,437,488千円
歳入総額	8,610,568千円
歳出総額	8,333,499千円
実質収支	236,078千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【人件費】

市町村合併により2つの一部事務組合職員も新町の職員となったことなどから、職員数が類似団体平均よりも多い状況となっている。類似団体平均と比較すると6.5ポイント高くなっているが、ラスパイレス指数は4ポイント低い水準となっている。定員適正化計画によって適正な職員数にすることで人件費の抑制に努め、低い水準を目指す。

【物件費】

スポーツ施設の指定管理者制度への移行により前年度と比較し1ポイント高くなったが、類似団体内平均より0.7ポイント低くなっている。今後も集中改革プランに基づき、事務事業の見直し等行財政の効率化を進め、行政コストの圧縮に努める。

【扶助費】

単独事業の抑制等により前年度とほぼ同水準で、類似団体平均より1.7ポイント低くなっている。国の制度改革や単独事業としての乳幼児医療費助成制度の拡充等により、今後若干数値が変動する可能性が見込まれる。

【公債費】

合併特例債の償還が始まっているが公債費の規模が大きく変動することなく同規模で推移していることから0.8ポイント改善している。類似団体平均より3.2ポイント低く、旧町時代から計画的に地方債を抑制していたことが現在の低水準を維持する結果に結びついている。

【補助費等】

一部事務組合及び病院事業会計に対する補助金の占める割合が大きいことから、急激に歳出を抑制することが困難であり、類似団体平均より高い水準となっているが、集中改革プランの補助金ガイドラインに沿った見直しにより各種団体への補助金等を抑制することで前年度より0.6ポイント改善している。

【その他(繰出金等)】

これまで類似団体平均と比較しても高い水準であったが、継続して特別会計全で経費の削減や料金等の適正化により繰出金の抑制を図ってきたことにより、前年度と比較して0.5ポイント、類似団体平均から0.7ポイント低い水準まで改善した。

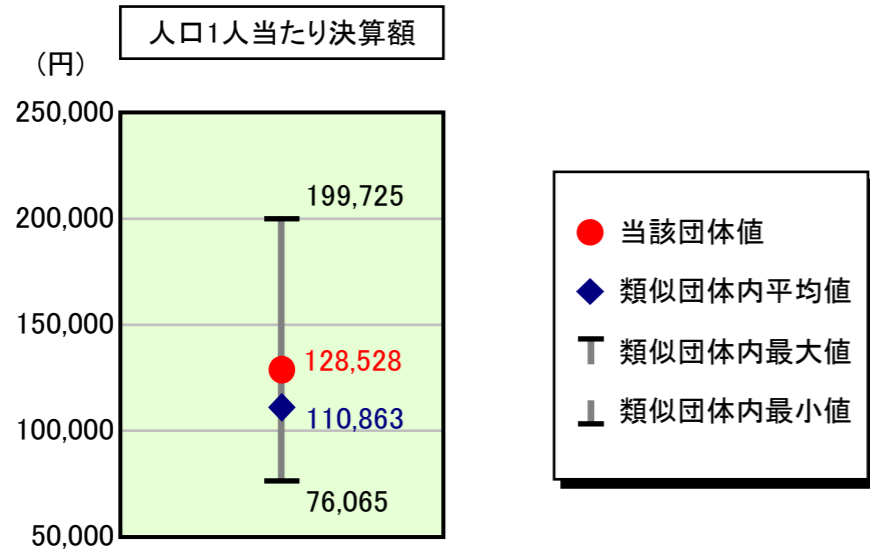
【普通建設事業費】

地域活性化臨時交付金等により前年度に比べ人口一人当たりで30,744円増加したが、全国的に同様の影響がみられることから、類似団体平均より26,861円(26.2%)低くなっている。平成17年の合併時から3年間は類似団体平均を上回っていたが、平成20年度からは合併に伴う大型の建設事業が低減したため、類似団体平均より低い水準で推移している。

歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

宮城県 南三陸町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



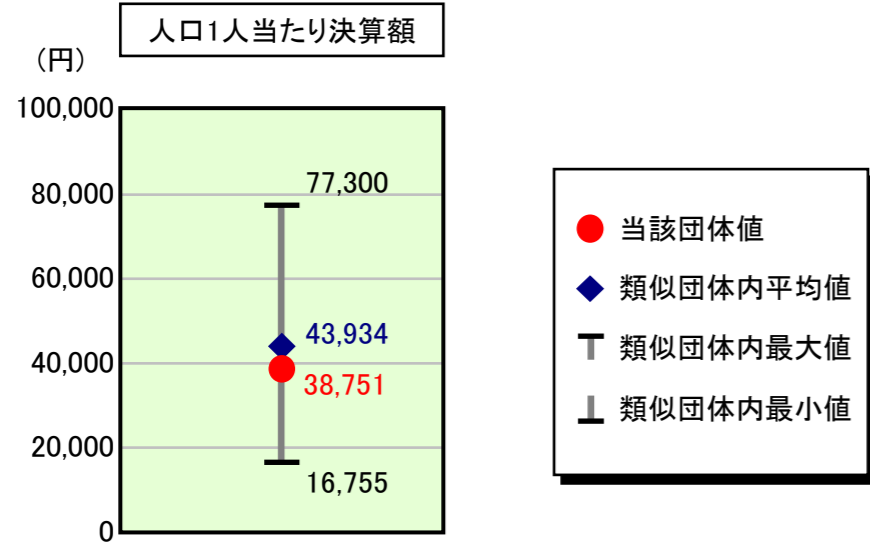
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	1,803,509	101,235	93,010	8.8
賃金(物件費)	58,871	3,305	7,367	▲ 55.1
一部事務組合負担金(補助費等)	370,576	20,801	13,875	49.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	157,944	8,866	1,494	493.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	65,419	3,672	4,796	▲ 23.4
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	31,326	1,758	2,144	▲ 18.0
▲退職金	▲ 197,927	▲ 11,110	▲ 11,822	▲ 6.0
合計	2,289,718	128,528	110,863	15.9

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	12.12	10.26	1.86
ラスパイレス指数	91.4	95.4	▲ 4.0

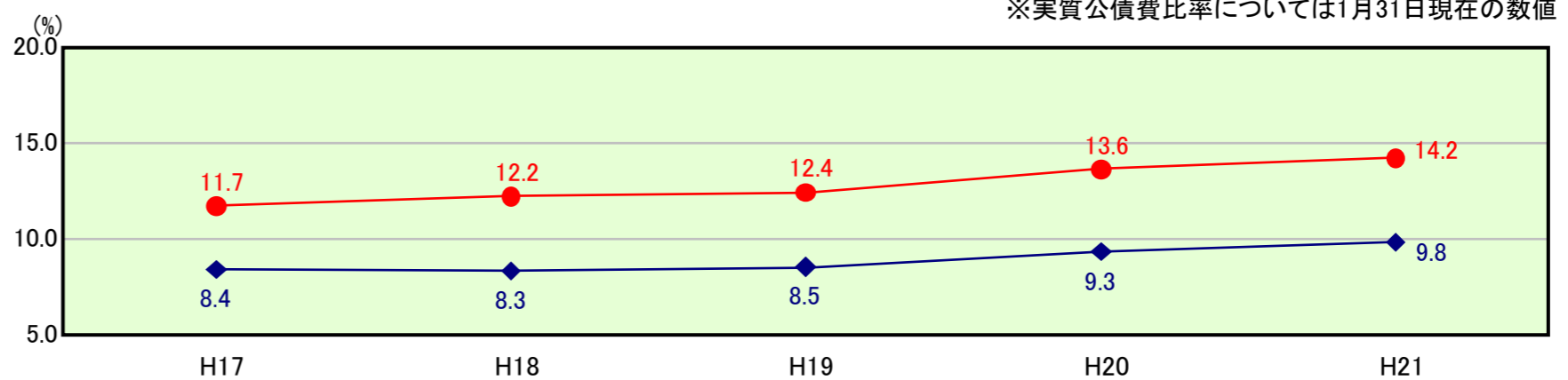
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素) ※1月31日現在の数値

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,053,997	59,163	81,141	▲ 27.1
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	3,333	187	-	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	187,817	10,543	18,569	▲ 43.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	20,984	1,178	5,045	▲ 76.7
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	58,367	3,276	2,478	32.2
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	35	-
▲特定財源の額	▲ 28,514	▲ 1,601	▲ 3,332	▲ 52.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 605,638	▲ 33,996	▲ 60,002	▲ 43.3
合計	690,346	38,751	43,934	▲ 11.8

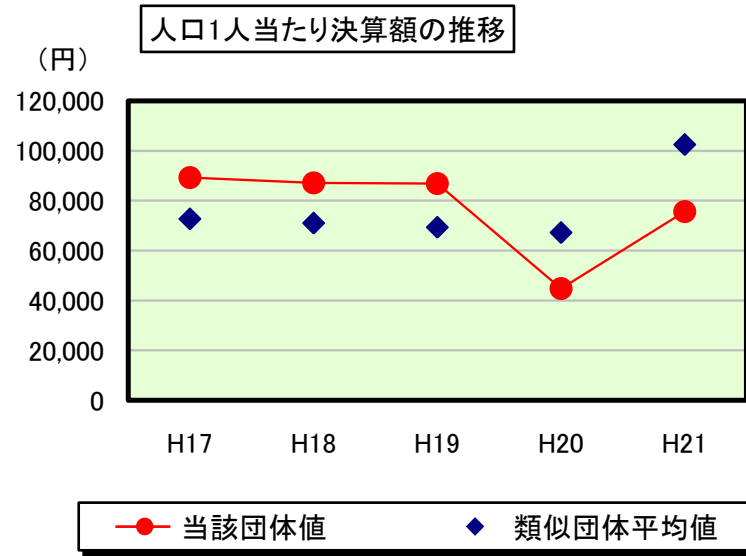
※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

宮城県 南三陸町

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H17	1,682,905	89,194	-	72,650	-	-
うち単独分	762,429	40,409	-	35,523	-	-
H18	1,615,998	87,031	▲ 2.4	70,966	▲ 2.3	▲ 0.1
うち単独分	823,442	44,347	9.7	39,164	10.2	▲ 0.5
H19	1,587,954	86,845	▲ 0.2	69,282	▲ 2.4	2.2
うち単独分	804,512	43,998	▲ 0.8	32,828	▲ 16.2	15.4
H20	808,095	44,807	▲ 48.4	67,180	▲ 3.0	▲ 45.4
うち単独分	361,741	20,058	▲ 54.4	34,294	4.5	▲ 58.9
H21	1,345,939	75,551	68.6	102,412	52.4	16.2
うち単独分	866,004	48,611	142.4	58,752	71.3	71.1
過去5年間平均	1,408,178	76,686	3.5	76,498	8.9	▲ 5.4
うち単独分	723,626	39,485	19.4	40,112	14.0	5.4